allcinema

悪魔の美しさ（1949）

LA BEAUTE DU DIABLE
BEAUTY AND THE DEVIL

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 フランス／イタリア
色彩 B&W
時間 96分
初公開日 1951/12/04
公開情報 東和＝東宝

【解説】

ゲーテの『ファウスト』のクレールなりの翻案なのだが、いつもの軽みを失わず、深い人生への考察をものにしている。これ二人の名優シモンとフィリップの至高の演技の賜物。特に冒頭では髪を尖らせたメフィストフェレスを、そして青年ファウストを演じるフィリップはミューズに乗り移られたかのように素晴らしい。彼は朗読のレコードを幾つも残しているが、その美貌に増して声の響きが魅力的で、メフィストに回春させられてからしばし老人の口調で喋り、次第に体にみなぎる若さを声にも取り戻していくあたり、溜息が出るほど見事だ。試験的に青年に戻ったファウストはジプシー一座に入って若さを満喫するが、失踪した老ファウスト（すなわち自分自身）の殺人犯とされ、あわや断頭台という所を老ファウストの姿のメフィストに救われる。だが、本契約は巧妙に避け、彼に錬金術の知識を授け土砂から金を生み出し巨万の富を得るファウスト。メフィストもドジな悪魔の使いで、このままでは彼は幸福になってしまうーーとルシファーにお伺いをたてると、閃いたのが恋の仕掛け。彼に大公妃に横恋慕させると同時に、金への執着も生ませ、まんまと“死んだら魂を売る”契約を取り結ぶ。が、ファウストは軍事産業に手を出し、偏執的な暴君となる自分の姿を鏡に見て我に帰る。再会したジプシーの踊り娘マルグリットは彼を励ますが、メフィストは彼女を魔女として糾弾。追いこまれたファウストの前で、してやったりと契約書をちらつかせるメフィストは、愚かにもそれを城外に落として、魔女裁判で決起していた民衆に、老ファウストと誤解されて追われ投身自殺する。青年ファウストはマルグリットを肩に抱き、颯爽と城を去る。現実と絶妙に照応した“未来像”の諷刺も効いているが、もっと根本的な人間の営みに目を向けて、実に示唆に富んだ作品であった。

【クレジット】

監督	ルネ・クレール	Rene Clair	
製作	サルヴォ・ダンジェロ	Salvo D'Angelo	
脚本	ルネ・クレール	Rene Clair	
	アルマン・サラクルー	Armand Salacrou	
撮影	ミシェル・ケルベ	Michel Kelber	
編集	ジェームズ・クエネット	James Cuenet	
音楽	ロマン・ヴラド	Roman Vlad	
出演	ミシェル・シモン	Michel Simon	ファウスト教授
	ジェラール・フィリップ	Gerard Philipe	アンリ
	ニコール・ベナール	Nicole Besnard	マルグリット
	シモーヌ・ヴァレール	Simone Valère	大公妃
	カルロ・ニンキ	Carlo Ninchi	大公
	レイモン・コルディ	Raymond Cordy	アントワン
	テュリオ・カルミナティ	Tullio Carminati	侍従

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.

パオロ・ストッパ　　Paolo Stoppa
ガストン・モドー　　Gaston Modot

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　　Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.